

本表の略記法について

Composition リソースに出現する section 要素は以下のような構造をとる。

nn	section				0..1	BackboneElement
nn.1		title			0..1	string
nn.2		code			0..1	CodeableConcept
nn.2.1			coding		0..1	Coding
nn.2.1.1				system	0..1	uri
nn.2.1.2				code	0..1	code
nn.2.1.3				display	0..1	string
nn.3		text			0..1	Narrative
nn.3.1			status		1..1	code
nn.3.2			div		1..1	xhtml
nn.4		entry			0..*	Reference(Any)
nn.4.1			reference		1..1	string
nn.4.2		emptyReason			0..1	CodeableConcept

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。

多重度の記載は、1 段目に section 要素自体の多重度、2 段目に参照リソースの多重度(上表 nn.4 の sectoin.entry の多重度)を転記している。s

n	section				0..* 1..*	参照リソース名	“〇〇情報セクション”	簡単な説明
---	---------	--	--	--	--------------	---------	-------------	-------

なお、section をネスト(入れ子)にする場合の親の section で参照リソースがない(entry がない)場合には、上記の参照リソース名を―とこの表に記述し、その不  
存在理由として sectoin.emptyReason.coding.code に” unavailable”を設定する。

また、各 section 要素における entry 以外の要素の記述仕様については、表 2 の後に掲載の「表\_Compositino\_section の情報構造」を参照すること。

表 Composition リソース 文書構成情報(退院時サマリー)

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多 重 度	型	値	説明
1	resourceT ype						“Composition”	<b>Composition</b> リソースであることを示 す
3	extension				1..1	Extension		文書バージョンを表す拡張 「composition-clinicaldocument- versionNumber」。
3.1		url			1..1	uri	“http:// hl7.org/fhir/StructureDefinition/c	拡張を識別する URL。固定値。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
							omposition-clinicaldocument-versionNumber”	
3.2		valueString			1..1	string	“1.0”	文書のバージョン番号を表す文字列。値は例示。
4	identifier				1..1	Identifier		この文書の文書 ID。
4.1		system			1..1	uri	固定値	文書 ID の名前空間を表す URI。固定値。
4.2		value			1..1	string	“1311234567-2020-00123456”	文書 ID。値は例示。付番方法は本文を参照。
5	status				1..1	code	“final”	この文書のステータス。最終版が登録される段階では、“final” でなければならない。
6	type				1..1	CodeableConcept		文書区分コード
6.1		coding			1..1	Coding		
6.1.1			system		1..1	uri	“http://jpfhir.jp/fhir/CodeSystem/DocumentType”	文書区分コードのコード体系を識別する URI。固定値
6.1.2			code		1..1	code	“18842-5”	文書区分コード。”18842-5:退院時サマリ”を指定。固定値。
6.1.3			display		0..1	string	“退院時サマリ”	文書区分コードの表示名。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
7	category				1..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
7.1		coding			1..1	Coding		
7.1.1			system		1..1	uri	“http:// jpfhir.jp/fhir/ePrescription/CodeSystem/PrescriptionCategory”	文書カテゴリコードのコード体系を識別する URI。固定値。
7.1.2			code		1..1	code	“00”	文書カテゴリコード。 ”00:退院時サマリー”
7.1.3			display		0..1	string	“退院時サマリー”	コードの表示名
8	subject				1..1	Reference (Patient)		患者情報を表す <b>Patient</b> リソースへの参照。
8.1		reference			1..1	string	”urn:uuid:11f0a9a6-a91d-3aef-fc4e-069995b89c4f”	<b>Patient</b> リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
9	encounter				0..1	Reference(Encounter)		この退院時サマリーを作成する元となった入院情報を表す <b>Encounter</b> リソースへの参照。  表 2 に出現の Encounter と同一インスタンスを参照する。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
9.1		reference			1..1	string	"urn:uuid:12f0a9a6-a91d-8aef-d14e-069795b89c9f"	<b>Encounter</b> リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
10	date				1..1	dateTime	"2020-08-21T12:28:21+09:00"	このリソースを作成または最後に編集した日時。ISO8601 に準拠し、秒の精度まで記録し、タイムゾーンも付記する。午前 0 時を"24:00"と記録することはできないため"00:00"と記録すること。
11	author				2..2	Reference (Practitioner Organization)		文書作成責任者を表す <b>Practitioner</b> リソースへの参照、および 文書作成機関を表す <b>Organization</b> リソースへの参照の 2 つの Reference を繰り返す。
11.1		reference			1..1	string	"urn:uuid:7f60d206-66c5-4998-931e-86bf2b2d0bdc"	<b>Practitioner</b> リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
11.2		reference			1..1	string	"urn:uuid:179f9f7f-e546-04c2-6888-a9e0b24e5720"	<b>Organization</b> リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
12	title				1..1	string	"退院時サマリ"	この文書の(人が読める)タイトル。固定値。

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
13	custodian				1..1	Reference(Organization)		文書の作成・修正を行い、文書の管理責任を持つ機関( <b>Organization</b> リソース)への参照。文書作成機関と同一の組織の場合、custodian 要素からは文書作成機関を表す <b>Organization</b> リソースへの参照となる。文書作成機関とは異なる組織である場合は、文書作成機関とは別の <b>Organization</b> リソースで表現し、custodian 要素からはその <b>Organization</b> リソースを参照する。
13.1		reference			1..1	string	"urn:uuid:179f9f7f-e546-04c2-6888-a9e0b24e5720"	custodian に対応する <b>Organization</b> リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
	section				0..1 1..*	DocumentReference/Binary	“退院時サマリ叙述記録セクション”	<p>退院時サマリ全体がひとつの叙述記録でしか表現できない場合にここに記述し、他のセクションは省略することができる。他のセクションで構造的に記述する場合でも、全体をひとつの叙述記録としてこのセクションに記述してもよい。</p> <p>テキスト形式以外に PDF、スキャンした画像、WORD ファイル、エクセルファイルなどでもよい。</p> <p>ファイルへの参照でもよい。Binary リソースには、テキスト、HTML または XHTML での埋め込みリソースを想定している。</p>

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
								<p>サマリ文書本体への添付情報を付けたい場合には、“添付情報セクション”を用いる。</p> <p>なお、厚労省標準 CDA 規格で作成された XML ファイルをそのまま参照する場合には本セクションではなく、次の“退院時サマリ構造ファイル参照セクション”を用いる。</p>
	section				0..1 1..1	DocumentReference	“退院時サマリ構造ファイル参照セクション”	<p>退院時サマリ全体を記述した文書ファイルへの参照。</p> <p>既存の厚労省標準 CDA 規格で作成された XML ファイルをそのまま参照したい場合、この要素を使用する。</p> <p>他の場所に保存されている FHIR ドキュメントを参照する場合にもこの要素を用いる。</p> <p>この要素が出現した場合、以降のセクションは、“添付情報セクション”を除き、省略する。</p>
	section				0..1	—	“退院時サマリ構造情報セクション”	<p>退院時サマリーを FHIR リソースの組み合わせにより記述する場合にこのセクションを記述する。</p>

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
14		section			1..1	Encounter	“入院詳細セクション” “admissionDetailsSection”	表 2 に出現の Encounter はすべてこのインスタンスと同一インスタンスを参照する。
15		section			1..*	Condition	“入院時診断セクション” “admissionDiagnosesSection”	
16		section			0..*	AllergyIntolerance	“アレルギー・不耐性反応セクション” “allergiesIntoleranceSection”	
17		section			0..*	Condition	“入院時主訴セクション” “chiefComplaintSection”	
18		section			0..1	Encounter	“入院理由セクション” “reasonForVisitSection”	表 2 に出現の Encounter はすべてこのインスタンスと同一インスタンスを参照する。
19		section			0..*	Condition	“現病歴セクション” “presentIllnessSection”	



No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
20		section			0..*	Condition	“既往歴セクション“ “pastIllnessSection”	
21		section			0..*	MedicationState ment	“入院時服薬セクション” “admissionMedicationsSection“	
22		section			0..*	Observation	“入院時社会歴セクション“ “socialHistorySection“	
23		section			0..*	Observation	“入院時身体所見セクション“ “admissionPhysicalStatusSection“	
24		section			0..*	FamilyMember History	“入院時家族歴セクション“ “familyHistorySection“	
25		section			1..*	ClinicalImpressi on	“入院中経過セクション“ “hospitalCourseSection“	

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
26		section			1..1	Encounter	“退院時詳細セクション“ “dischargeDetailsSection“	表 2 に出現の Encounter はすべてこのインスタンスと同一インスタンスを参照する。
27		section			0..*	MedicationRequest   Bundle(電子処方箋)	“退院時投薬指示セクション“ “dischargesMedicationSection“	
28		section			0..*	CarePlan	“退院時方針指示セクション“ “dischargeInstructionSection“	
29		section			0..*	Observation	“退院時身体所見セクション“ “dischargePhysicalSection“	
30		section			0..*	Procedure	“入院中治療セクション“ “hospitalProcedureSection“	
31		section			0..*	Observation   ImageStudy   DiagnosticReport   Bundle (報告書)	“入院中検査結果セクション“ “hospitalStudySection“	

No	要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
32		section			0..*	DeviceUseStatement	“医療機器セクション” “medicalDeviceSection”	
33		section			0..*	Immunization	“予防接種歴セクション” “immunizationSection”	
34		section			0..*	Consent	“事前指示セクション” “advanceDirectiveSection”	
35		section			0..*	ResearchSubject	“臨床研究参加セクション” “researchParticipationSection”	
36	section				0..*	DocumentReference   Binary	“添付情報セクション” “AttachmentSection”	